

子どもたちの秋の収穫体験

当JAでは、食農教育として管内の子供たちへ農作業体験の支援をしている。

さつまいもみんなで収穫

～尾上わんぱく農園～

「わんぱく農園」は、食農教育の一環として、子どもたちが土に親しみながら収穫の喜びを体験してもらおうと、平川市の葛西恵光さんの圃場（ほじょう）で毎年行い、当JAの尾上支部の女性部員や青年部員が栽培管理を協力している。

日の出こども園の園児と平川市立金田小学校の児童2、4年生がさつまいも「紅東」の収穫体験を行い、スコップや手でさつまいもを傷つけないようにみんなで協力しながら収穫した。大きくたくさん実ったさつまいもに喜びと驚きの歓声を上げた。

圃場を提供した葛西さんは「子どもたちの楽しそうな顔がうれしい。毎年わんぱく農園の図画を見るとみんな笑顔の絵で、楽しい思い出になっていると実感する」と話した。



日の出こども園の収穫体験（10月11日）



金田小学校の収穫体験（10月15日）

小学生が育てたりんごを収穫

～板柳南小学校りんご収穫体験～

板柳町立板柳南小学校の5年生23人は11月1日、同町の園地でりんごの収穫体験をした。同校では毎年、当JAの成田義仁理事の園地にあるりんごの木を1本借りて、5年生が年間を通してりんご栽培について学んでいる。児童らは、有袋ふじと自作したシールを貼った絵入りりんごを、色づきや大きさを確認しながら一生懸命収穫作業をした。

収穫体験を行った児童は「初めてりんごの収穫をした。りんごのツルを残して収穫するのが難しかったけど、たくさん収穫することができた」と笑顔で話した。

来年の修学旅行では、児童らが今回収穫したりんごでPR活動を実施する予定。



りんごの収穫をする児童

農業の大変さと収穫の喜びを実感

～東英小学校脱穀作業～

黒石市立東英小学校の5年生11人は10月22日、同市の高橋等さんの水田でもち米の脱穀作業体験を行った。米作りの体験を通して、稲の成長の様子や米作りの過程を学ぶため毎年行っている。

稲穂をハーベスタへ投入する作業は高橋さんが行い、児童らは稲穂を運ぶ作業と脱穀し終わった稲わらを束ねる作業を行った。脱穀作業を体験した児童は「授業でも米の勉強はしたけど、作業を体験することで農業の大変さが分かった」と話した。12月には、脱穀したもち米を使った餅つきを予定している。



脱穀作業をする児童